

今月のテーマ「学力を上げる工夫」

ここを伸ばしてみよう 「聞く力」「考える力」「質問する力」

新型コロナの感染拡大は徐々に落ち着き、授業も部活も学校行事も元に戻りつつあります。3年生の皆さんは、学校生活を思う存分楽しみつつ、一方で受験準備を着々と進めていかなければなりません。今号では学力アップのための方法について提案します。



ys
media

【よみうり進学メディア】

<https://ysmedia.jp/>

発行/©(株)読売エージェンシー
東京都千代田区富士見2-1-12
03-5226-9915

編集協力/(株)メディアバンク
(社)かながわ民間教育協会

2022年 神奈川版 6月号

特集 先輩がすすめる我が校自慢! 2面

日本大学藤沢高校(藤沢市)
橘学苑高校(横浜市)
横浜芸術高等専修学校(横浜市)

2022年度 神奈川県私立入試の動向 3面

専門学科にはどんな学科があるの?

受験生の疑問に答えるQ&A 4面

専門家の先生がみなさんの疑問・不安に
ズバリ解答!!

神奈川入試情報

公立入試「面接必須」廃止へ
令和5年度公立高校入試日程

難しくても心を閉じないこと
まず授業の受け方についてです。点数が伸びない人の特徴は、ちよつと難しそうな話になると、すぐに心を閉ざしてしまうことです。諦めが早いと言ってもいいかもしれません。点数が伸びる人は、少し難しいなと感じても簡単に諦めません。何とか理解しようと努力します。すると、最初は難しいと思ったことも少しずつ分かってきます。

初めて習うことは誰にとっても難しいことです。が、最初の段階で「無理絶対無理、分かんない」と心を閉ざしてしまうか、「うーん難しいな。でももう少し聞いてみようかと粘るか。点数が伸びる人と伸びない人の差はここにあります。

質問の仕方が間違っている
先生が質問に答えてくれないと不満を言う人がいます。変ですね。そんなはずはありません。先生は生徒に教えるのがお仕事です。生徒全員に力をつけて欲しいと願っています。ですから、皆さんが授業中に質問したり、休み時間や放課後に質問しに来たりするのは大歓迎のほうです。もしかして皆さんの中に「分かりませーん」が質問だと勘違いしている人はいませんか。「分かりませーん」は状態を言っているだけです。「お腹が空いています」や「眠たいです」と大差ありません。

自分の頭で考えてみたか
質問の話の続きです。質問の前段階には、必ず自分で考えてみるという行動がなくてはなりません。「分からない」「自分なりに考えてみる」「それでも分からない」「先生に質問してみる」このような順番になります。特に「自分なりに考えてみる」の部分が重要で、この自分で考える時間は長ければ長いほどいいです。もしかしら、ある日ある瞬間「分かった」となるかもしれません。先生に聞いて、すぐに分かってしまったほうがスッキリします。そして早く次に進めます。受験勉強は短期決戦と言えませうから、そうしたい気持ちも分かります。ですが、その場合でも「自分なりに考えてみる」というプロセスを省略しないことです。

書くことより聞くことに集中する
次は授業の受け方の話です。

今回は学力を上げるための方法をいくつか提案します。学力というのは、幅広い意味を持つ言葉ですが、ここでは学校の定期考査や入試学力検査で高得点を取る力と考えることにします。

「自分なりに考えてみる」「それでも分からない」「先生に質問してみる」このように順番になります。

「分らない」「自分なりに考えてみる」「それでも分からない」「先生に質問してみる」

皆さんは授業中にノートをとります。板書を書きとります。先生の話をもめます。これは大事なことです。だからこれからも続けてください。

「分らない」「自分なりに考えてみる」「それでも分からない」「先生に質問してみる」

「分らない」「自分なりに考えてみる」「それでも分からない」「先生に質問してみる」

部活動 PICKUP!



三浦学苑高校 吹奏楽部

三浦学苑高校吹奏楽部は、創部51年を迎えます。今年は「昇華」をスローガンに掲げ「心に訴える演奏」を目標に日々活動しています。夏のコンクールと冬の定期演奏会を二大柱に、地域の演奏など多くの演奏活動を行っています。個性豊かな仲間と共に、今演奏できることに感謝を伝えながら活動していきたいと思ひます。(写真・文:学校寄稿)

神奈川全県模試
県内最大級の公開模試で夏の頑張りを確かめよう!!
中1、中2、中3の全学年対象
中2と中3は「特色検査対策模試」も同時開催
県内複数会場にて、**8/21日**開催
親子のための特色検査対策特別セミナー
参加無料 **7/23日**開催
会場:鎌倉芸術会館 10:00~12:00
お申込みはwebから 神奈川全県模試

未来の自分を切り拓け

●こんな力(心)を持つ人を育てます

- ①自分を認め、大切にできる力
- ②他者に共感、受容し、思いやる心
- ③未知なるものに踏み出す力

全学年2クラスの**少人数教育**、**確かな力をつける英語教育**、**オーダーメイドの進路指導**

2023年度 共学化 聖ヨゼフ学園高等学校

JR京浜東北線「鶴見駅」京浜急行線「京急鶴見駅」その他東横線綱島駅・菊名駅からバス

オープンスクール 6月18日(土)
キャンパスツアー 8月4日(木)・5日(金) 18日(木)・19日(金)

「信・望・愛」を校訓とする人間教育や少人数教育などの学校の「核」は変えることなく、より広く豊かな学びの場としてアップデートします。(PR)

ミッションスクールとして約70年の歴史を持つ「聖ヨゼフ学園」が2023年4月から中学校となり、教育の特色の一つが「少人数教育」。全学年2クラス制で生徒個々の学びを細やかにサポートします。放課後の補習や学習メンター常駐の学習室、長期休暇中の講習はすべて無料で段階的に学習ができるシステム。

4 技能を確実に伸ばす英語教育には定評があり、卒業時には生徒の70%以上が英検2級以上を取得しています。そのため、国際系の学部に進学する生徒が多くなります。

進路指導は生徒一人ひとりの希望を尊重し、多様な受験形態に合わせたオーダーメイドの指導を実践しています。特に志望理由書や小論文の指導は1人の生徒に複数の教員が配置され面接の練習も納得できるまで繰り返します。毎年卒業生の80%が現役で大学に進学しています。近年、医療系学部への進学率も大きく伸びています。

また、探究学習に特化した「L・インクワイアリー」ベースラーニングコースを新設。外部講師を招き積極的に社会問題について考える機会を設け、フィールドワークを行います。さらには個々に研究テーマを決めて解決策を提案するプロジェクト型発信型の学びを実践します。これは聖ヨゼフ学園が目指す「世界の諸問題を他人事とせず自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人を育てる教育」の環です。

6月号特集 先輩がすすめる我が校自慢!

「僕の高校はここがすごい!」、「私の高校のここが好き!」などなど、先輩たちの自慢したいことを取材してきました。イキイキした先輩たちの声をお届けします。

写真:学校提供、一部編集部撮影

充実した進学サポートで 高校生活を満喫

日本大学藤沢高校(藤沢市)

日本大学生物資源科学部のキャンパスに隣接する、日本大学藤沢高校。緑豊かな大学のキャンパスを通り抜けると、各種施設が整った本館と野球、サッカー、テニスコートなどのスポーツ施設が一堂に集まった広大なキャンパスがある。

学校の自慢を尋ねると開口一番「学校中、先輩も後輩もみんな良い人ばかりで楽しい高校です」と話してくれたのは、田井公留美さん(2年・横浜市立市場中学校出身)。同校は、日本大学への進学を主軸にした「総合進学クラス」と、日本大学の難関学部や難関大学を目指す「特別進学クラス」に分かれている。さらに希望進路の実現に向けて、放課後講座や長期休暇講習、補習、基礎学対策講習など、サポート体制を充実させている。

2年次から文系特別進学クラスに移った田井さんも、1年次は総合進学クラスで、放課後講座を3講座受講していたそうだ。授業で分からなかったことは、先生に聞いた

り放課後講習で確認したり、その日のうちに理解するように努めたという。「特進クラスの雰囲気は大学進学に向けて既に真剣です。私はまだ目標が決まっていま

せんが、クラスメイトから毎日刺激をもらっています」と教えてくれた。日本大学への進学希望者の98%が日本大学へ進学できる同校。総合進学クラスでは

普段から勉強をしっかり行えば日本大学への付属推薦や他大学へも指定校推薦で進学先を選ぶことも可能だ。こうした付属推薦制度を上手に活かして、3年間勉強だけでなく部活動に思う存分打ち込めるのが同校の特長でもある。



「インスタチェックをお願い!」と話す田井さん



肌で感じた過ごしやすい 雰囲気

橘学苑高校(横浜市鶴見区)

鶴見区の高台、獅子ヶ谷の落ち着いた環境に位置し、生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育を実践している橘学苑高校。同校の2年生、赤松幸太郎さん(横浜市立大綱中学校出身)に学校について話を聞いた。

赤松さんが初めて同校を訪問したのは、11月の学校見学会。寒い日だったが、木漏れ日や綺麗な施設、それに学校の活気がとても印象的だった。2年生になった今でもその印象は変わらない。昨年整備されたばかりの音楽室、清潔な手洗いや、綺麗な図書館の壁画、にぎやかな学校全体を見渡せる渡り廊下など、好きな場所が沢山あると教えてくれた。時間、天気によって変わる景色が好きだという。図書館の壁画は創立者土光登美先生が愛した宮沢賢治の物語をモチーフにしているそうだ。

赤松さんが今、もっとも利用しているのが今年整備された図書館内の自習スペースだ。個人机での学習はとも集中でき、自信もついていたという。教科ごとの先生にもすぐ相談できるそうだ。赤松さんは中学3年生の頃、もっと勉強を頑張りたいという思いから、進学コースなどの特別な環境がある学校を探していた。何校か候補があったが、見学会を機に橘学苑に決めたそうだ。過ごしやすいという理由で、自宅から近いこともポイントだった。将来の夢は日本史の教師。今は、志望校合格に向けてしっかり勉強できているという。

最後に受験生へのアドバイス。「初めて来たとき、門に入ったらすごい活気でした。元気な挨拶をいただき、すぐ印象が良かったです。受験情報誌やインターネット、実際に訪れるのでは得られる情報が全然違います。『百聞は一見に如かず』です。気になる学校には足を運び、雰囲気を感じ取ってください。加えて赤松さんは部活動に行事に、積極的に取り組んでいることも話してくれた。初見の印象を信じ、入学した結果、とても充実した学校生活をおくっているようだ。

赤松さんが今、もっとも利用しているのが今年整備された図書館内の自習スペースだ。個人机での学習はとも集中でき、自信もついていたという。教科ごとの先生にもすぐ相談できるそうだ。赤松さんは中学3年生の頃、もっと勉強を頑張りたいという思いから、進学コースなどの特別な環境がある学校を探していた。何校か候補があったが、見学会を機に橘学苑に決めたそうだ。過ごしやすいという理由で、自宅から近いこともポイントだった。将来の夢は日本史の教師。今は、志望校合格に向けてしっかり勉強できているという。

最後に受験生へのアドバイス。「初めて来たとき、門に入ったらすごい活気でした。元気な挨拶をいただき、すぐ印象が良かったです。受験情報誌やインターネット、実際に訪れるのでは得られる情報が全然違います。『百聞は一見に如かず』です。気になる学校には足を運び、雰囲気を感じ取ってください。加えて赤松さんは部活動に行事に、積極的に取り組んでいることも話してくれた。初見の印象を信じ、入学した結果、とても充実した学校生活をおくっているようだ。



創立者、土光登美先生の像と一緒に



手厚い指導と学校のフオ ローアアップで夢の実現へ

横浜芸術高等専修学校(横浜市港北区)

総合芸術学科5コース(マンガ・イラスト、美術、声優、ファッション・ビューティー、ダンス&ポークル)と、美容師を養成する美容師学科の2学科で構成されている横浜芸術高等専修学校。「今日の午前は普通科目の授業、午後はガールズ・ダンスの授業でした」と嘉山アイ子さん(横浜須賀野市長井中学校出身)。同校の高等専修学校の卒業後には大学入学資格は付与されないところ、北海道芸術高等学校(通信制)との併修により、高校卒業資格も取得できる。

ダンス&ポークルコース2年の嘉山さんは、幅広い表現活動を行うアーティストになるのが夢。もともと好きだった音楽に加え、高校からダンスを始めた。実習ではヒップホップ、ジャズなど、それぞれのジャンルで活躍している先生から直接指導が受けられる。「実際にステージに立っている先生方なので経験豊富。テクニックだけでなくコツや裏話なども聞くことができ、授業時間はあっという間です。ダンスに必要な柔軟性と筋力をつける「体づくり(バレエ)」、発声法や歌唱技術を習

得する「歌唱実技」の授業もあり、基礎から丁寧に学び、表現力に近づけていく。毎年開催される芸術発表会『アートコレクション』ではダンス&ポークルコース全員がステージに立ち、学習の成果を存分に発揮する。学校の紹介でオーディションを受け、在学中のデビューも可能。嘉山さんも活動を開始している。「K-POPのオーディションでは、最終審査の前にダンスとポークルの先生に指導もいただきました。試しに先生の前で踊ったおかげで、本番は緊張しませんでした」と楽しいエピソードも。指導は手厚く、メンタル面まで相談のつてくれるそうだ。

ダンスやミュージカル俳優タレント、芸術系大学への進学と、生徒たちの夢はさまざま。この学校ではそれぞれの個性を伸ばし夢の実現を応援してくれます」と嘉山さんらしい笑顔で締めくくってくれた。

放課後の校舎前で

アートコレクションでの渾身のパフォーマンス



放課後の校舎前



アートコレクションでの渾身のパフォーマンス

「なりたい自分」を見つける3年間

授業体験&部活動紹介
7月23日(土) 11:00~12:00

学校説明会 ※11月19日(土)は午後のみ実施
① 9月23日(金) ② 10月15日(土) ③ 10月29日(土)
④ 11月 5日(土) ⑤ 11月19日(土) ⑥ 11月26日(土)
午前の部 10:00~11:00・午後の部 13:30~14:30

文化祭(みどり祭) ※要予約 ※詳しくはHPで確認を
11月12日(土)・13日(日) 10:00~15:00

個別相談会(ミニ説明会を含む)
12月3日(土) 10:00~14:00

鎌倉女子大学高等部
〒247-8511 神奈川県鎌倉市岩瀬1420 TEL:0467-44-2113
https://www.kamakura-u-j.ed.jp/

新宿駅より28分・下北沢駅より20分
小田急線快速急行にて、葉平駅まで

相光学園は、地下鉄ブルーライン延伸の早期完成を応援しています。

2022年度 大学合格実績
国公立大学 計126名
早慶上智 計136名
MARCH理科大計522名

高等学校 学校説明会日程 (web予約制)
7/24(日) 8/7(日) 10/29(土)
7/31(日) 9/11(日) 11/23(祝)
8/4(木) 10/23(日) 12/18(日)
8/6(土)

※指定校推薦枠が慶應義塾大学・早稲田大学等多数あります。また、特待生制度や奨学生制度も充実しています。各種の日程や内容については、本校ウェブサイト等にて重ねての確認をお願い致します。

学校PV、WEB説明会などの動画が本校ウェブサイトにて随時公開中です!

Please access toko gakuen

○伸ばす力を与える「男女別学」、希望進路に応じたコース編成
○年間600講座を超える講習制度と「大学訪問授業」(書籍出版もあります)
○英語脳を育み、国際理解を促す多彩な研修・留学プログラム

相光学園 中学校 高等学校
〒215-8555 ●小田急多摩線葉平駅より徒歩約12分
川崎市麻生区葉木3-12-1 ●小田急多摩線黒川駅よりスクールバスにて約5分
TEL:044-987-0519 ●京王相模原線若葉台駅よりスクールバスにて約15分

2022年度 学校説明会 開催

Be Ambitious

クラーク記念国際高等学校 厚木キャンパス

一人ひとりの生徒が主役!
厚木キャンパスで未来を切り拓こう!!

【学校説明会】※AMバージョン:10時~12時 ※PMバージョン:13時~15時
6月18日(土)AM・7月 2日(土)PM・7月16日(土)PM
7月31日(日)AM・8月 6日(土)PM・8月21日(日)AM
8月27日(土)PM・9月10日(日)PM

①教育方針の説明 ②生徒による学校紹介
③入学試験についての説明
④生徒との交流会・キャンパスツアー(学習ツール&eスポーツ体験)
※教員による個別相談も実施します

私たちが待っています!

夢・挑戦・達成
学校法人 クラーク記念国際高等学校 厚木キャンパス TEL:046-220-5539
〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-32-7 小田急小田原線「厚木駅」南口から徒歩5分

2022年度 神奈川県私立入試の動向

前年度に引き続き、コロナ禍の中で行われた神奈川県私立入試。どのような特徴が見られたか検証します。

難関校に志願者戻る

ひとつは難関校の応募者増です。一般入試では慶應義塾が152人14.1%の増になったのをはじめ、法政大学国際(学科)が61人16.6%の増

日大系は苦戦

一方日本大学では214人27.6%の減、日本大学藤沢は書類選考を学科試験の併願入試に戻したことも影響したのか、466人33.5%の大幅減と、日大勢は振るいませんでした。大学の問題が影響したのかもれません。

推薦入試の志願者増

次の特徴が、推薦入試で志願者増になった学校が目立ったことです。県全体では約500人、前年度比で約10%増えました。

出願基準の選択肢を増やした横浜創英の推薦志願者が倍増したほか、加点項目を追加した横浜清風、コース改編した平塚学園、出願基準を緩和した東海大学相模や鶴沼

横浜創学館、横浜準人、柏木学園なども大幅に増えました。

これは私立高校に対する学費補助金制度が充実してきており、私立高に向かいやすくなっていることが背景にあります。それに加えてコロナ禍により、早く進学先を決めたいという受験生が1月の推薦入試に集中していると考えられます。

オープン入試の応募増

もうひとつの特徴がオープン入試の応募者増が目立ったことです。中央大学附属横浜は93人27.0%増、桐蔭学園(A方式)は266人49.2%増、横須賀学院(アピリティ)は52人から124人へと倍以上増え、麻布大学附属も56人52.3%の大幅増でした。

県内の私立高校は併願入試を受ける場合、他の私立高を受験することはできませんが、オープン入試は受験可能です。このオープン入試の応募者増は、私立高同士の併願者が増えていることを示しているようです。

書類選考利用者増

県内の私立高入試は首都圏でも特異な地域です。それは書類選考型の入試を多くの学校で取り入れており、受験生は学力検査を受けることなく

書類審査のみで合否が決定するところにあります。書類選考はコロナ禍の2021年度入試で一気に広がり、2022年度では一般入試の志願者のうち約6割がこの制度利用者で占めるに至っています。

これは公立高入試と私立高入試の期日が近く、公立志願者の負担が大きいため、第一志望校に集中できる便利な制度といえます。

また、これらの学校群の他、複数の学校を早い段階から検索し、情報収集していたこともうかがえます。

「併願ドットコム」から見た検索校

首都圏16万ユーザーが利用している検索サイト「併願ドットコム」のデータから県内私立高校のエリア別検索ランキングを見てみると、次の様な学校が上位にきています。

高校入試最大級の進路サポートサイト

併願.com 関東版

併願優遇で入れる私立高校探し!

単願.com 関東版

単願で狙える私立高校がこんなに!

運営会社 高校入試活性化委員会 Powered by 株式会社リヴィジョン

専門学科(高校)にはどんな学科があるの?

高校には普通科以外にも様々な専門学科があります。専門学科は、自分の興味・関心のあることを専門的に学び、将来自分が進む道を見つけていくことができます。農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の職業に関して、本格的に学ぶ環境が整っているのが専門高校です。多くの卒業生が、実践的な学びや、取得した資格を活かして、なりたい職業に就いたり、大学や専門学校に進学したりと、希望の進路を実現しています。今回は代表的な学科を5つピックアップしました。

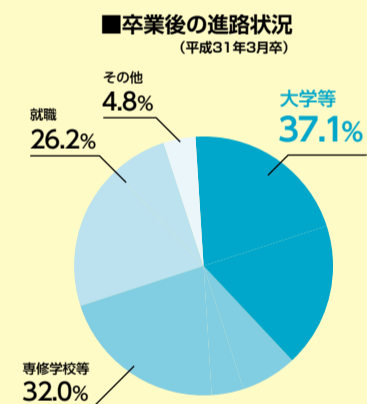
出展:文部科学省「専門高校パンフレット」

情報科

情報化社会のスペシャリストを目指す

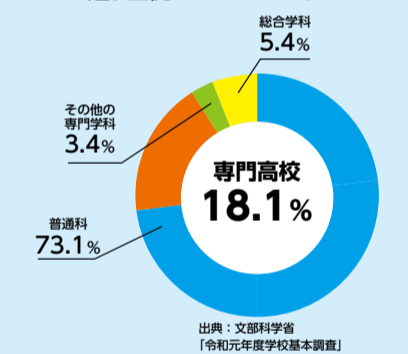
プログラム作成、ネットワークシステム構築や情報デザイン、静止画・動画、Webページの制作などを学び情報化社会を支える人を目指します。

情報処理技術者試験(ITパスポート試験・基本情報技術者試験・応用情報技術者試験)/マイクロソフトオフィススペシャリスト/ICTプロフェッショナル検定/情報セキュリティマネジメント試験 ほか



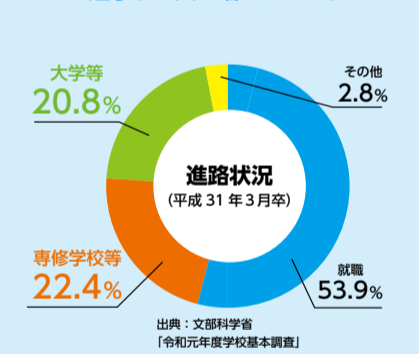
Q1 どれくらいの人が専門高校に通っているの?

A1 全国の高校生のうち、専門高校に通う生徒は、18.1%です。



Q2 卒業後はみんな就職するの? 大学に進学は出来る?

A2 大学や専修学校に進学する人も増えています。

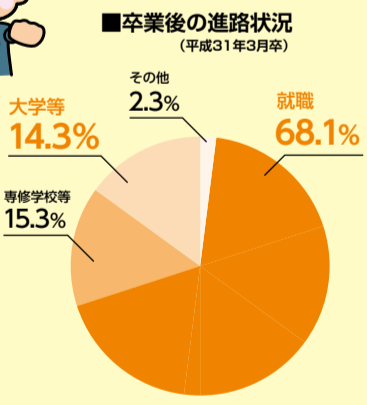


工業科

日本の「ものづくり」を担う優秀な技術者に

工業と社会の発展に貢献できる技術・技能を学びます。

各種種技能士/電気工事士/電気主任技術者/(電気通信の)工事担任者/自動車整備士/ボイラー技士/土木施工管理技術検定/建築施工管理技術検定/管工事施工管理技術検定/電気工事施工管理技術検定/陸上特殊無線技士/測量士補/情報処理技術者試験(ITパスポート試験・基本情報技術者試験)/危険物取扱者/消防設備士/公害防止管理者/火薬類取扱保安責任者/車両系建設機械運転技能者 ほか

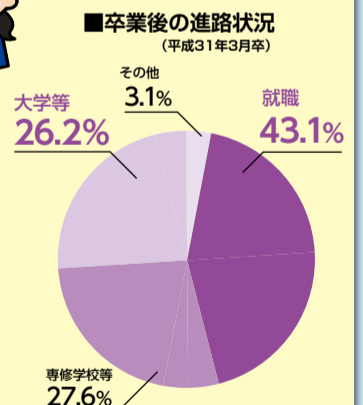


商業科

さまざまな角度からビジネスを学ぶ

- ものを生産する人とそれを消費する人をつなぐ流通
- マーケティング、法律、簿記、情報処理、経済
- ビジネスを円滑に行うためのコミュニケーションを学びます。

日商簿記検定/全商簿記実務検定/全商会計実務検定/税理士試験(簿記論・財務諸表論)/情報処理技術者試験(ITパスポート試験・基本情報技術者試験・応用情報技術者試験)/全商情報処理検定/全商英語検定/実用英語技能検定/全商ビジネス文書実務検定/全商ビジネスコミュニケーション検定/全商珠算・電卓実務検定/日商販売士検定/全商商業経済検定/中小企業診断士試験/社会保険労務士試験/ファイナンシャル・プランニング技能検定/旅行業取扱管理者試験 ほか

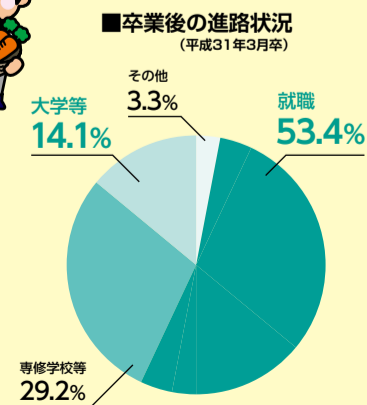


農業科

食物や自然を学び、人々の生活を支える人に

- 農業学習は、以下の4つの分野にわかれます。
- ①農業や食品加工
 - ②森林、土木、造園などの地域環境
 - ③動物、植物の生物工学
 - ④フラワーアレンジなどのヒューマンサービス

日本農業技術検定/家畜人工授精師/毒物劇物取扱責任者/危険物取扱者/食品衛生責任者/ボイラー取扱者/測量士補/土木施工管理技術検定/造園技能検定/小型車両系建設機械/園芸装飾技能士/食生活アドバイザー ほか

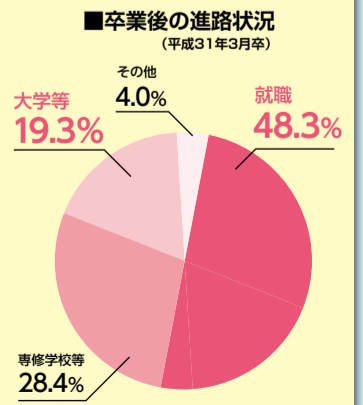


福祉科

地域の暮らしになくてはならない存在

卒業後は介護福祉士として活躍したり、進学して社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を目指す生徒もいます。

介護福祉士/実務者研修/介護職員初任者研修/福祉住環境コーディネーター/社会福祉士/介護福祉士検定 ほか



※各卒業後の進路状況の出典は、文部科学省「令和元年度学校基本調査」より

